

オーラルフレイルを見逃さないために

香川県歯科医師会では令和元年度より、香川県の補助を受けてオーラルフレイルに関する事業を行っています。初年度は歯科診療所外来を受診する70歳以上の方に対し、歯やかみ合わせの状態だけでなく、口腔機能に関するスクリーニングを行い、オーラルフレイルに該当する方（機能低下している、またはその予備群）がどのくらい存在するのか等を調査しました。

また、令和2年度より調査と並行して該当者に対しては改善プログラム・再検査を実施しながら、その効果を検証しました。結果は以下のようになります。



● オーラルフレイルの概念

オーラルフレイルは、口の機能の健常な状態（いわゆる『健口』）と『口の機能低下』との間にある状態である。

● オーラルフレイルの定義

オーラルフレイルは、歯の喪失や食べること、話すことに代表されるさまざまな機能の『軽微な衰え』が重複し、口の機能低下の危険性が増加しているが、改善も可能な状態である。



オーラルフレイル令和2年度調査報告書(香川県歯科医師会)

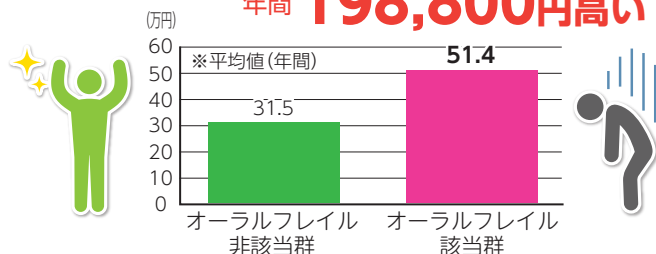
● 調査対象: 歯科外来を受診する70歳以上の男女 ● 総調査件数: 1,568件(男性607件、女性961件)

オーラルフレイルの該当者と非該当者では「医科診療費」「調剤費」にかなりの差が！

● 医科診療費

オーラルフレイル該当群が非該当群より

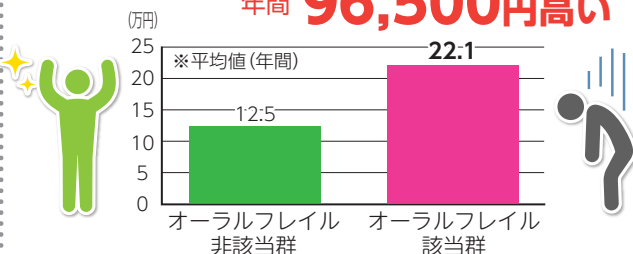
年間 **198,800円**高い



● 調剤費

オーラルフレイル該当群が非該当群より

年間 **96,500円**高い

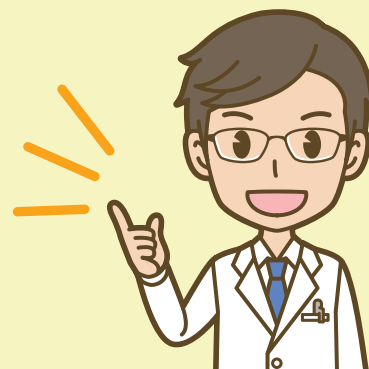


オーラルフレイル令和3年度調査・令和元年度からの追跡調査報告書(香川県歯科医師会)

● 調査対象: 歯科外来を受診する70歳以上の男女 ● 総調査件数: 1,877件(男性748件、女性1,129件)



自分の口の健康状態を知って オーラルフレイル対策を



こんな症状ありませんか？
チェックしてみましょう

オーラルフレイルのチェック項目（Oral frailty 5-item Checklist：OF-5）

項 目	質 問	選択肢	
		該当	非該当
残存歯数減少	自身の歯は、何本ありますか (さし歯や金属をかぶせた歯は、自分の歯として数えます。インプラントは、自分の歯として数えません。)	<input type="checkbox"/> 0～19本	<input type="checkbox"/> 20本以上
咀嚼困難感	半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
嚥下困難感	お茶や汁物等でむせることがありますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
口腔乾燥感	口の渇きが気になりますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
滑舌低下 (舌口唇運動機能の低下)	普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

5つの項目のうち、2つ以上に該当する場合は「オーラルフレイル」です

かかりつけ歯科医に定期的に通い、
ずっと笑顔で“健康長寿”を目指しましょう！

いつまでも元気で、
おいしく食べられるように…

